

いのちとくらしをまもる
防災減災

令和2年7月10日
予報部

梅雨前線に伴う大雨の見通しについて（令和2年7月豪雨）

令和2年7月豪雨に関する概要や今後の見通しについて別添のとおりお知らせいたします。

問合せ先：予報部 予報課 電話 03-3211-8303

(土砂災害、河川の増水や氾濫、低い土地の浸水に厳重に警戒)

＜概況＞ 梅雨前線が東シナ海から対馬海峡を通過して東北地方へのび、朝鮮半島付近にある前線上の低気圧が北東へ進む。西日本・東日本では局地的に雷を伴って非常に激しい雨が降っている。九州北部を中心に、これまでの記録的な大雨で土砂災害の危険度の高い状態が続いている。

＜気象の見通し＞ 梅雨前線は来週にかけて本州付近にある見込み。前線上の低気圧は11日にかけて日本海を北東へ進み、前線の活動は活発となる見込み。西日本と東日本、東北地方では11日にかけて、局地的に雷を伴った非常に激しい雨や激しい雨が降り、再び大雨となるおそれがある。さらに12日以降も前線の活動が活発な状態が続き、大雨となるおそれ。

＜警戒事項＞ 土砂災害、河川の増水や氾濫に厳重に警戒、低い土地の浸水に警戒。竜巻などの激しい突風や落雷に注意。各地の気象台が発表する警報等の気象情報や気象庁ホームページの危険度分布に留意。

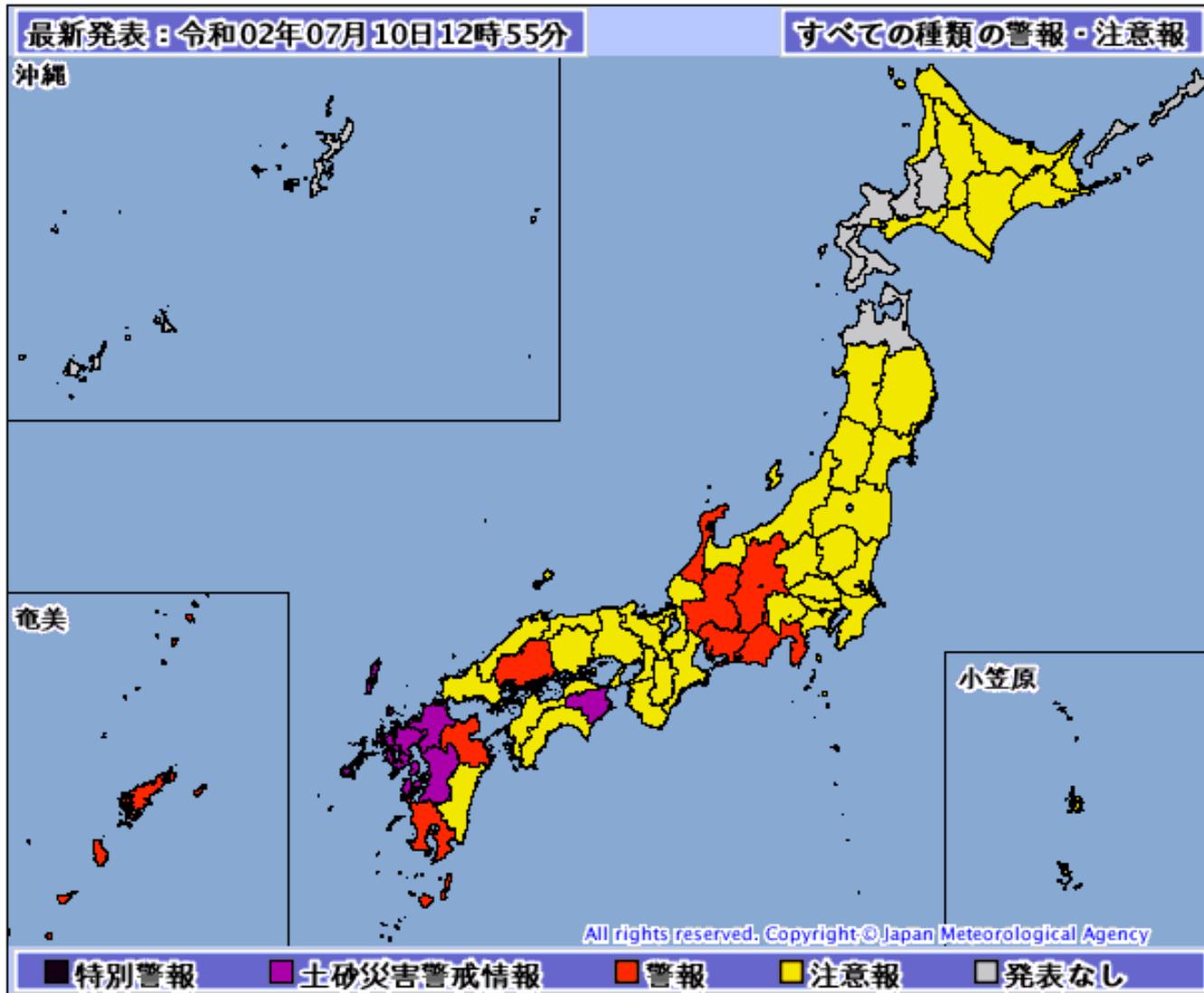
- 各地の気象台が発表する警報等の気象情報や気象庁ホームページの危険度分布に留意。地元市町村の避難情報にも留意。
 - ※お住まいの場所が安全な場所か否かハザードマップなどで改めて確認し、安全ならば自宅内での安全確保を、危険な場合は指定された避難場所への移動のほか、安全な親戚・知人宅等への移動も考えてください。新型コロナウイルス感染の懸念もありますが、危険な場所にいる人は自宅の外への避難をためらわないでください。
- どこで危険度が高まっているかを大雨・洪水警報の危険度分布で確認してください。危険度の高まっている領域では、少しでも安全な場所への早めの避難を心がけてください。
- 急傾斜地や増水している河川、農業用水など、危険な場所に近づかないでください。

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。

(気象警報・注意報：<https://www.jma.go.jp/jp/warn/>)

警報・注意報の発表状況

7月10日
13時時点の資料



今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(気象警報・注意報：<https://www.jma.go.jp/jp/warn/>)

危険度分布

7月10日
13時時点の資料

土砂災害

大雨警報（土砂災害）の危険度分布
（土砂災害警戒判定メッシュ情報）

極めて危険 【警戒レベル4相当】

非常に危険 【警戒レベル4相当】

警戒 【警戒レベル3相当】

注意 【警戒レベル2相当】

今後の情報等に留意

- 危険度分布において、5段階に色分けされたうち、最大の危険度（濃い紫）となっている場所では、土砂崩れや浸水により、すでに避難が困難となっているおそれがあります。
- 上から2段階目の危険度（うす紫）となっている場所では、災害が切迫し、避難が必要とされる警戒レベル4に相当する状況です。
- これらの場所において、土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の危険な場所からまだ避難できていない方は、直ちに避難の判断をしてください。

今後の予想を含めた最新の情報は地元の气象台が発表した気象情報をご利用ください。
（危険度分布：<https://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/index.html>）

